

Y-360, “オフエリア” FY-280, “マリアンズ” TY-270, “キャサリン” TSY-130Gには本格的2ウェイスピーカーシステムを備え音響方面に一段の向上を計ったことなどである。また多数の機種に放送条件に応じて最良の画質が選べる押ボタン式ビデオコントロールあるいは電源スイッチを独立の押ボタン式として画も音も調節したままの状態で点滅できるワンタッチシステムを採用、離れたところから放送局の切換、音量調節などのできるワイヤ式リモートコントロールユニット CW-30を開発し、上記全機種に取付可能としたこと、部品の改善による性能の向上を計ったことなど種々の進歩もみられる。

“スザンナ” FY-360, 漸新なデザインの14型のコンソレッド・タイプでダイナミック・サウンド・システム、押ボタン式トーンコントロールなどを採用した。

“ジュリエット” SY-330, 安定度の高い本機は17型としては球数と電力消費量の少ない経済性のよさを持ったセットである。

“キャサリン” TSY-130G, わが国テレビの最高峰というべき27型の最大画面、扉付コンソール3スピーカーの超豪華セットであり、大きな特長はFMラジオ付であることで、スイッチで自由にテレビとFMラジオが選べる。また音声出力回路はひずみの少ないプッシュプル回路、映像中間周波増幅4段、ノイズキャンセラーなど最高級回路を採用した。

(1) トランジスタテレビ受信機 (試作品)

テレビ受信機の小型軽量化よりもむしろ無故障化を目標にして製作したトランジスタテレビ受信機は、外国にもあまり例のない14型90度偏向のブラウン管とトランジスタ33石、ダイオード7石と高圧整流用真空管2本を使用し、国内では初めての全12チャンネル感度300 μ V/mの弱電界用のチューナを内装している。消費電力30W, 6Vの電池4個を含む全重量17kgで、ACアダプタなしで連続5時間動作可能である。

(2) カラーテレビ受信機 (試作品)

日立製作所では、早くよりカラーテレビ受信機の研究を開始し、各種方式受信機の研究試作を重ねてきた。その中から二種類を取上げて、概略を説明する。

(a) CT-140B カラーテレビ受信機

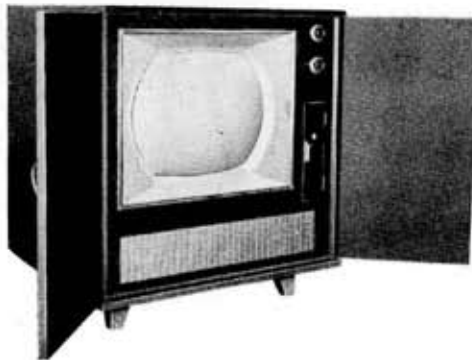
NTSC方式に準拠し、家庭用を目標とした超遠距離用、高解像度のカラーテレビ受信機である。色復調方式はIQ方式を使用し、カラーテレビ用ブラウン管は、日立製21CYP22を用いて、高安定度、高忠実度の性能を得ている。使用真空管数はブラウン管を含めて41本、消費電力は500Wである。

(b) CT-150 カラーテレビ受信機 (試作品)

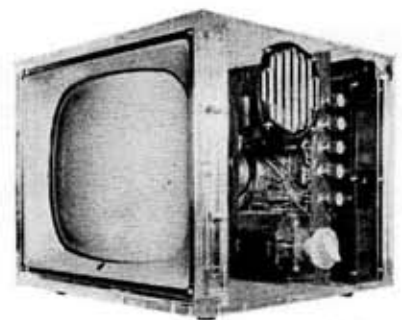
前記同様、NTSC方式に準拠した家庭用超遠距離型カラーテレビ受信機である。色復調方式はXZ方式を使用し、画質を低下させずに簡易化をはかったものである。カラーテレビ用ブラウン管は、日



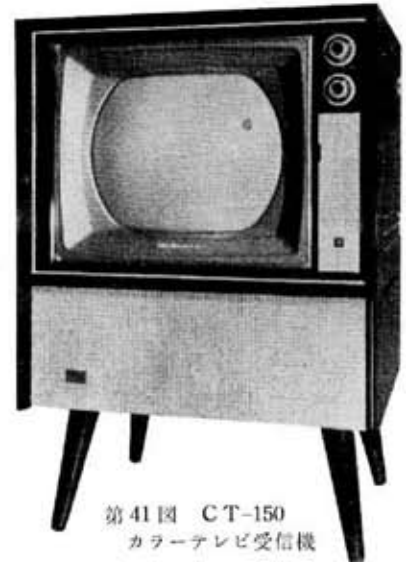
第38図 “キャサリン” TSY-130G テレビ受信機



第40図 CT-140B カラーテレビ受信機



第39図 トランジスタテレビ受信機



第41図 CT-150
カラーテレビ受信機

立製21CYP22を用い、使用真空管数はブラウン管を含め29本、消費電力は430Wである。

10.5.2 ラジオ

過去1年間にトランジスタラジオ、真空管式ラジオともに多数の新機種を発表した。これらは国内の需要に応ずるのももちろん、トランジスタラジオは遠く欧米に毎月大量に輸出されている。このうち代表的セットを紹介する。

(1) トランジスタラジオ “アニー” TH-627

日立ドリフトトランジスタHJ-74を用いた6石超小型ポケットタイプで、特に扁平形に設計されている。選局を容易にするためバーニヤ式を採用し、超小型セットとしての最高の性能、機能を有している。

(2) トランジスタラジオ TH-862R

8石式ポケットタイプで、ドリフト1石を使用し、発振はセパレート方式で、高感度、高S/Nを目標として設計されている。選局を容易にするためバーニヤを採用し、主としてアメリカに輸出されている。

(3) トランジスタラジオ “ベギー” WH-901

ドリフト3石を使った9石RF付ラジオで、国内どこにおいても聴取可能な高感度セットである。トーンコントロール付で、音



第42図 “アニー” TH-627
6石超小型トランジスタラジオ



第43図 TH-862R 8石
トランジスタラジオ



第44図 “ベビー”WH-901
2バンド9石超高感度ト
ランジスタラジオ



第45図 WH-662 2バ
ンドF (Long Wave) ト
ランジスタラジオ



第46図 “エーダ” S-528
小形ホームラジオ



第47図 “アンナ” F-632
AM/FM ホームラジオ

量、音質ともによつて最高級製品である。

(4) トランジスタラジオWH-662

主として欧州市場を対象とし設計された長波付2バンドで、6.5cmスピーカーを使用し特に音質の良さを考慮して設計されている。

(5) ホームラジオ“エーダ”S-528

家族1人に1台という目標で設計されたきわめて廉価の2バンドオールウェーブラジオである。強力10cmスピーカを使用し、小形ラジオとは思えない豊かで美しい音質を出すことができる。レコードプレーヤーを併用するとそのまま電番となるピックアップ端子をもち、またイヤホンが取付けられるジャック2個を備えている。

(6) ホームラジオ“アンナ”F-632

きわめてすくない予算でFM放送をも楽しめるよう設計された3バンドホームラジオで、中形ラジオの決定版である。

ワンタッチスイッチ、ピックアップ端子、イヤホン、ソケット2個を有し、和室にも洋間にも合うシックなデザインとなっている。

10.5.3 電 蓄

(1) ステレオ電蓄 PSG-520

コンソレットタイプの優美な高級木製キャビネットに取められたPSG-520電蓄は脚を取外せば卓上形電蓄ともなり、和風洋風いずれの室にもマッチする設計となっている。ラジオ部分は上面操作型のダイヤルスケール板をもつ2バンドオールウェーブラジオであり、16cmダイナミックスピーカ2個を有し豊かで美しいHiFi音をたのしむことができる。



第48図 PGS-520 Hi Fi
ステレオ電蓄



第49図 A-520G アンプ付 HiFi
ステレオスピーカボックス

プレーヤーはSP盤からLP、ST(ステレオ)盤レコードまで自由に演奏可能な4スピード・ステレオプレーヤーであり、ピックアップにはきわめて広いダイナミックレンジをもつ高級サファイヤ針付きのカートリッジを備えている。

(2) アンプ付スピーカボックス A-520G

アンプおよび16cmダイナミックスピーカ2個を有し、PSG-520電蓄と併用することによりすばらしい迫力と立体感あふれたHiFiステレオ電蓄となる。

Vol. 22 日 立 No. 1

目 次

- ◎たすかっている.....町 春草
- ◎電子計算機のはたらき
- ◎各方面で活躍する日立エレクトリックエアクリーナ
- ◎銚子で活躍するタクシー群
- ◎明日への道標“500t/h橋形クレーン”
- ◎日 立 た よ り
- ◎日立ハイライト“日高分工場施設”
- ◎超 高 圧 送 電 A C S R
- ◎スタッカ・リクレーマによる連続荷役
- ◎空 気 輸 送 の は な し
- ◎新 し い 照 明 施 設

発行所 日立評論社
東京都千代田区丸の内1丁目4番地
振替口座 東京 71824 番
取次店 株式会社オーム社書店
東京都千代田区神田錦町3の1
振替口座 東京 20018 番

日立造船技報

Vol. 20 No. 3

目 次

- ◎木船構造における固着釘と木材との関係
- ◎曳船の曳綱緩衝装置について
- ◎水油タンクの測深表の横傾斜に関する修正について
- ◎電気炉における酸素製鋼の応用に対する研究
- ◎ストロングバックに関する研究
- ◎高張力鋼ユニオンメルト溶接における溶着金属の切欠きじん性について
- ◎ポリエステル系樹脂塗料について
- ◎かじ性能に及ぼすプロベック後流の影響について

本誌につきましても御照会は下記発行所へ
御願いたします。

日立造船株式会社技術研究所
大阪市此花区板島北之町